

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	療育教室「こあら教室」開設事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)				
					宇陀市一般会計予算		
事業の目的	発達障害児及び保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障害のある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費					
根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第4節 障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち						
H26年度事業の概要	発達障害児の早期療育の場とし、指導者を充実させ、関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。 臨時職員賃金 1,550千円 消耗品費 50千円 食糧費 24千円 障害保険料 15千円 合計 1,639千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度実績 平成22年11月より開設。 家庭児童相談員1名、臨時保育士4名、指導員1名で、毎週火曜日朝10時より「ぬくもりの郷」で 39回実施。7組の親子が参加。 臨時職員賃金 1,765千円 講師謝礼 130千円 消耗品費 169千円 食糧費 6千円 手数料 11千円 合計 2,081千円				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	24	
					一般財源	1,615	
					H26予算額	A 1,639	
					H25当初予算額	B 1,562	
H25現計予算額	1,562						
増減額	A-B 77						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	2,081	1,562		参加者負担金 24千円			
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	4,481	3,962					
活動指標名	参加親子数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	14	単位	%	18	単位	%	
単位当たりコスト(円)	320,071		220,111				
事業の目標	児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流をはかる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (13)“こあら教室”を開設しています。	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心身障害者医療費助成事業 市加算分																								
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)																								
事業の目的			宇陀市一般会計予算																								
心身に障害のある者(身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者)に対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。			区分	No.	区分名																						
			款	3	民生費																						
			項	1	社会福祉費																						
			目	2	障害者福祉費																						
細目	1	本庁障害者福祉費																									
根拠条例等	宇陀市心身障害者医療費助成条例、同条例施行規則																										
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																										
H26年度事業の概要	支払った医療費(食事療養費や保険外医療費を除く。)から、一定の金額を除いた金額を助成する。 県の心身障害者医療費助成金補助制度では、障害者本人及び扶養義務者に所得制限があるが、宇陀市は市単独事業として県の制限所得を超える方も助成対象としている。 (市単分予算の内訳) ・自己負担金集計手数料・・・@44円×55件×12ヶ月=29,040円 ・医療扶助費・・・9,600円×33人×12ヶ月=3,801,600円			財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 594 一般財源 3,237 H26予算額 A 3,831 H25当初予算額 B 3,938 H25現計予算額 3,938 増減額 A-B ▲ 107																							
事業の成果	■心身障害者医療費助成の状況 (市単独事業分) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数(年度末)</td> <td>24人</td> <td>29人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>助成件数</td> <td>358件</td> <td>400件</td> <td>420件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出額</td> <td>自己負担集計手数料</td> <td>14,564円</td> <td>15,972円</td> </tr> <tr> <td>医療助成費(高額立替払分含)</td> <td>3,049,028円</td> <td>3,459,501円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,063,592円</td> <td>3,475,473円</td> </tr> </tbody> </table>				23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	対象者数(年度末)	24人	29人	35人	助成件数	358件	400件	420件	支出額	自己負担集計手数料	14,564円	15,972円	医療助成費(高額立替払分含)	3,049,028円	3,459,501円	計	3,063,592円	3,475,473円		
	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)																								
対象者数(年度末)	24人	29人	35人																								
助成件数	358件	400件	420件																								
支出額	自己負担集計手数料	14,564円	15,972円																								
	医療助成費(高額立替払分含)	3,049,028円	3,459,501円																								
	計	3,063,592円	3,475,473円																								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																							
決算額又は決算見込額(千円)	3,476	3,618		福祉医療費助成制度高額療養費(諸収入) 594千円																							
従事職員数【人工】	0.08	0.08																									
人件費(人工×8,000千円)	640	640																									
総事業費:人件費含む(千円)	4,116	4,258																									
活動指標名	受給者数																										
活動指標の算式	—																										
活動指標の実績	29	単位	人	35	単位 人																						
単位当たりコスト(円)	141,931			121,657																							
事業の目標	医療費の一部を助成することで安心して医療を受けられるようにすることを目指す。			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (3)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃																							

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業 市加算分								
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	後期高齢者医療制度対象者で重度の心身障害のある者(身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者)に対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名					
					款	3	民生費				
					項	1	社会福祉費				
					目	3	老人福祉費				
細目	1	本庁老人福祉費									
根拠条例等	宇陀市重度心身障害老人等医療費助成要綱										
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実										
H26年度事業の概要	対象者が支払った医療費(食事負担や保険外診療分を除く。)から、次の金額を除いた金額を助成する。 ・通院の場合・・・医療機関毎に月500円 ・入院の場合・・・医療機関毎に月1,000円(ただし、月14日未満の入院の場合は、500円) 県の助成金補助制度では所得制限があるが、宇陀市は所得制限を超える方にも市単事業として助成している。 (市単事業分の予算額) 医療費助成費 8,500円×31人×12カ月=3,162,000円				財源の内訳 (単位:千円)						
					分担金		使用料		国費		県費
事業の成果	■重度心身障害老人等医療費助成状況 (市単独事業分)				一般財源	3,162					
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	H26予算額	A 3,162					
	対象者数(年度末)	18人	31人	21人	H25当初予算額	B 3,001					
	助成件数	353件	529件	550件	H25現計予算額	3,001					
	支出額 医療費助成費	2,004,203円	2,691,242円	3,100,960円	増減額	A-B 161					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	2,692	3,101									
従事職員数【人工】	0.03	0.03									
人件費(人工×8,000千円)	240	240									
総事業費:人件費含む(千円)	2,932	3,341									
活動指標名	受給者数										
活動指標の算式	—										
活動指標の実績	31	単位	人				21	単位	人		
単位当たりコスト(円)	94,581	159,095									
事業の目標	重度心身障害老人等に対して、その医療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減するとともに、生活の安定に寄与することを目標とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (3)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊事業						
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市一般会計予算						
事業の目的	見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等見守り隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。		区分	No.	区分名				
			款	3	民生費				
			項	1	社会福祉費				
			目	3	老人福祉費				
細目	1	本庁老人福祉費							
根拠条例等	高齢者等おしらせ隊実施要領 高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領								
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち								
H26年度事業の概要	平成23年度から、高齢者等見守り隊の編成を行うべく、安心安全ネットワーク推進委員会にて検討。高齢者等おしらせ隊は市が、高齢者等サポート隊は市社会福祉協議会・地域包括支援センターが、それぞれ運営主体となり、24年度から実施。 特に、高齢者等サポート隊は、モデル地域を中心に実践活動を行うことで、地域住民自身で地域の課題や問題点を把握し、高齢者等見守りマップの作成やサポート隊の養成・研修を行ってため、市社会福祉協議会委託料の費用を計上した。		財源の内訳 (単位:千円)						
			分担金						
事業の成果	高齢者等おしらせ隊と高齢者等サポート隊の2つを合わせて高齢者等見守り隊を呼んでいる。高齢者等おしらせ隊は、配達関連事業所及びライフライン検針業務関連事業所に協力を求め、市と事業所が協定を締結。平成23年12月から業務中に高齢者等の異変を察知した場合、通報・連絡体制や連携を取ることで官民協同のもと高齢者等の孤独死の防止を行っている。 高齢者等サポート隊は、4地域の関係団体に説明会を開催し、事業の目的やモデル地域の決定を行っているが、既存関係団体への説明段階で、進捗が遅れている。23年度内に4地域のモデル地域を指定し、個別説明会やワークショップの開催を目指している。		使用料						
			国費						
			県費						
			市債						
			その他						
			一般財源		963				
			H26予算額	A	963				
H25当初予算額	B	963							
H25現計予算額		963							
増減額	A-B	0							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	200	963							
従事職員数【人工】	0.30	0.30							
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400							
総事業費:人件費含む(千円)	2,600	3,363							
活動指標名	高齢者サポート隊の設置数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績	4	10							
単位当たりコスト(円)	650,000	336,300							
事業の目標	持続可能な事業として、また高齢者等の見守り活動を地域住民、行政、民間事業所の官民協働で実施していく予定だが、サポート隊活動の具体的な内容や範囲、地域への醸成が今後課題となる。まちづくり協議会でも同じことが言えるが、趣旨は理解していただいているものの、必要性に迫られていない地域の醸成をどう図るか、どのようにアピールしていくかが今後の課題・目指すべき事業目標と言える。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【暮らしの安心】 (4)“高齢者等サポート隊”事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市施設開設準備経費補助金事業		
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	小規模多機能型居宅介護施設を整備することにより、在宅での生活継続を支援する。		区分	No.	区分名
			款	3	民生費
			項	1	社会福祉費
			目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費			
根拠条例等	宇陀市施設開設準備経費補助金交付要綱				
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち				
H26年度事業の概要	県より施設開設準備経費助成特別対策事業補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)を受け、宇陀市施設開設準備経費補助金として支給する。 補助金額 600,000円×9名 = 5,400,000円		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	小規模多機能型居宅介護事業所を整備することにより、「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供することが出来る。		使用料		
			国費		
			県費	5,400	
			市債		
			その他		
			一般財源		
			H26予算額	A	5,400
			H25当初予算額	B	
H25現計予算額					
増減額	A-B	5,400			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額(千円)		\diagdown		施設開設準備経費助成特別対策事業等補助金 5,400千円	
従事職員数【人工】					
人件費(人工×8,000千円)					
総事業費:人件費含む(千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績					
単位当たりコスト (円)					
事業の目標	「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する。		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (6)介護施設等施設整備推進補助・開設準備経費補助事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	小規模多機能型居宅介護施設を整備することにより、在宅での生活継続を支援する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費					
根拠条例等	宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	県より介護基盤緊急整備等臨時特例補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)を受け、宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金として支給する。 補助金額 41,812,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	小規模多機能型居宅介護事業所を整備することにより、「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供することが出来る。				使用料		
					国費		
					県費	41,812	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A	41,812
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	41,812					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			 介護基盤緊急整備等臨時特例交付金 41,812千円 				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (6)介護施設等施設整備推進補助・開設準備経費補助事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	体力向上事業うだ子ども元気体操(ウェルネスシティ枠)				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	子どもの生活習慣の適切な改善は、園での運動活動の中で子どもたちに体を動かすきっかけをつくる。 幼児期からの運動習慣の改善や定着化を図ることは、幼児の運動や体力向上に結び付く。 宇陀市独自の「子ども元気体操」をつくることにより、楽しく体を動かすことの喜びと、子どもの体力向上を目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	報償費 講師謝礼(指導) 100千円 " (作詞・作曲) 200千円 需用費 印刷製本費(リーフレット) 10円×15,000部×1.08=162千円 消耗品費 (DVD作成) 300千円 役務費 (チラシ折り込み) 15千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	子どもたちがどこでも体を動かすことができる体操を通じて、体の動きを高めることをねらいとする。宇陀市オリジナル体操を製作することで、子どもたちが楽しくリズムカルに笑顔で元気いっぱい全身を動かし、体力向上を図ることが期待できる。 また、子どもから大人、高齢者までもが気軽にできる体操として又、世代間交流としても市民の健康増進と体力向上も期待できると考える。 今後、「うだ元気体操」が定着することで、市のイベントや運動会等でも実践でき、市民誰もが周知している体操となり、市民の体力づくりの一貫としても担うことができる。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源	777						
H26予算額	A	777					
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	777					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	幼児期の望ましい運動習慣として、幼児期における体を動かす機会や運動環境を充実させることを目標とする。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市子ども・子育て会議				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	幼稚園・保育所のあり方や認可・運営基準、施設の給付見込の推量など、平成26年度上半期までに5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を策定することになっている。 この事業計画に有識者や保護者代表などの意見を反映させる意味から、宇陀市子ども・子育て会議を運営する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	宇陀市子ども・子育て会議条例 子ども・子育て支援法第77条						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	子ども・子育て新制度の具体的運用に係る基本指針や認可・運営基準、認定こども園・幼稚園・保育所を通じた共通の給付の創設等を盛り込んだ宇陀市子ども・子育て支援事業計画の策定にむけ、審議・検討を行う。 * 子ども・子育て支援事業計画策定(報酬)子ども・子育て会議委員長 @7,800円×1名×3回×1/2= 11,700円 その他委員 @6800円×13名×3回×1/2= 132,600円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	25年7月に宇陀市子ども・子育て会議条例を制定し、有識者や保護者代表者、公募委員など20名で構成し、8月10日を初回に3回を実施してきた。 25年度は、保護者のニーズ調査を実施し、その結果を集計・分析し、本市の就学前の教育・保育や子育て支援の給付事業量を算定し、各委員の意見や審議を反映させながら、27年度から向こう5年間の計画を策定する予定。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	145	
					H26予算額	A	145
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額		189					
増減額	A-B	145					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		189					
従事職員数【人工】		0.80					
人件費(人工×8,000千円)		6,400					
総事業費:人件費含む(千円)		6,589					
活動指標名	会議委員数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		20	人				
単位当たりコスト(円)		329,450					
事業の目標	地域の子育てに関する保護者ニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画を策定、子育て支援の充実を図る。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (1)子ども・子育て会議の実施		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	家庭児童相談員・ファミリーサポートセンター事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	家庭児童相談員事業は、社会問題となっている児童虐待などの未然防止と早期発見に努め、相談・支援体制の充実を図る。 また、ファミリーサポートセンター事業は、育児の応援をしてほしい方(利用会員)と、応援したい方(サポート会員)等がお互いに助けたり、助けられたりして、育児の相互活動を行う組織を応援する。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	宇陀市家庭児童相談室設置運営要綱、宇陀市要保護児童対策地域協議会要綱、宇陀市サポートクラブ事業実施要綱等						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	・家庭児童相談員の設置・・・家庭児童福祉に関する相談、指導業務を充実強化し、児童虐待の未然防止を図るため、関係機関との連携や戸別訪問を重視するとともに、家庭児童福祉の向上を図るために相談員を配置し、啓発活動を行う。3,218千円 ・要保護児童対策協議会・・・保護者のいない児童又は保護者に監護させることが適当でない児童、及び保護者に関する情報の交換を行うとともに、支援に関する協議を行う。6千円 ・ファミリーサポートセンターの充実(100名以上) 2,023千円 ・燃料費等91千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	・家族児童相談員への相談件数 24年度103件 23年度 82件 虐待相談 76件(23年度:72件) その他相談 27件(23年度:10件) ・児童虐待の状況 身体的虐待 26件、心理的虐待 22件、ネグレクト 28件 ・現状 ♯要保護対策協議会を利用しての支援が重要になっており、各所属所との現況確認、支援の打合せ回数が活発化した。♯経過観察が必要な家庭の個別訪問と関係機関(幼保、小・中学校)などとの連携(訪問)活動の需要が高まっているため、訪問活動を重点化した。♯具体的な子育ての仕方を指導することにより、子育て中の家庭支援、並びに虐待の未然防止を図った。 ・ファミリーサポートセンターのサポート会員44名、利用会員61名、両方会員16名の計121名が登録。(25年3月末103名)				使用料		
					国費	232	
					県費	1,040	
					市債		
					その他		
					一般財源	4,066	
					H26予算額	A 5,338	
					H25当初予算額	B 6,841	
H25現計予算額	6,841						
増減額	A-B ▲ 1,503						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	2,315	6,800	国:児童虐待防止対策補助金 232千円				
従事職員数【人工】	0.04	0.04	県:安心子ども基金 ファミリーサポートセンター事業 1,000千円 養育支援訪問事業 40千円				
人件費(人工×8,000千円)	320	320					
総事業費:人件費含む(千円)	2,635	7,120					
活動指標名	相談件数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	103	単位 件	130	単位 件			
単位当たりコスト(円)	25,583		54,769				
事業の目標	・子育てに対する不安や心配を解消するために、家庭・地域・行政が連携しながら、子育て家庭へのニーズに対応した事業を推進する。 ・子どもへの虐待は、心身の成長と人格の形成に大きな影響を与えるだけでなく、生命を奪うこともあるため、市民に啓発し、児童虐待の未然防止と早期発見に努め、相談・支援体制の充実を図る。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (2)家庭児童相談員・ファミリーサポートセンター事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	未熟児養育医療給付事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	低体重など身体の発育が十分でないまま生まれてきた赤ちゃんは、家庭で養育することが難しいことから、医師が入院治療が必要と認めたお子さんに対して必要な医療の給付を行うことを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	母子保健法						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	1. 対象者 1歳未満で、身体の発育が未熟なまま出生し、出生時の体重が2,000グラム以下などの症状を有して、医師が入院養育の必要を認めた乳児。 2. 給付方法 養育医療に係る費用を市が一旦全額指定医療機関に支払い、後日保護者の所得税額等に応じた負担額を保護者より徴収する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成25年12月末までの扶助費支出額 896,612円(8件)				分担金	157	
事業の成果					使用料		
					国費	611	
					県費	305	
					市債		
					その他		
					一般財源	308	
					H26予算額	A 1,381	
				H25当初予算額	B 1,617		
				H25現計予算額	1,617		
				増減額	A- ▲ 236		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		/		1,501		未熟児養育医療費国庫負担金 611千円	
従事職員数【人工】				0.01		未熟児養育医療費県負担金 305千円	
人件費(人工×8,000千円)				80		未熟児養育医療費自己負担金(諸収入) 157千円	
総事業費:人件費含む(千円)				1,581			
活動指標名		受給者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		単位	12	単位	人		
単位当たりコスト(円)				131,750			
事業の目標	乳児の健康保持と子育て支援				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (4)未熟児養育医療給付事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども医療費助成事業 市加算分	
------	----	-----	------------------------	--

所管課	101	保険年金課	(市民環境部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-------	---------	-----------

事業の目的	子どもを養育している者に対して当該子どもに係る医療費の一部を助成することで、子どもの健康の保持及び福祉の増進などを図ることを目的とする。			区分	No.	区分名
	款	3	民生費	項	2	児童福祉費
	目	1	児童福祉総務費	細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則			
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実			

H26年度事業の概要	宇陀市では、県が示す保護者の所得基準を撤廃して、その子どもが小学校就学までは、通院医療費の自己負担金の一部を、中学生卒業までは入院医療費自己負担金全額を助成する。 (市単独事業分の予算) ・自己負担金集計手数料・・・@44円×20件×12カ月=10,560円 ・医療費助成費・・・2,859,720円 ※平成26年度から、小中学生に対する入院医療費の助成が県単事業となった(保護者の所得制限あり)。			財源の内訳 (単位:千円)	
	分担金				
	使用料				
	国費				
	県費				

事業の成果	■子ども医療費助成状況 (市単独事業分)				
		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	
	医療資格者証所持者 (年度末)	33人	31人	15人	
	助成件数	370件	332件	280件	
	支出額	自己負担集計手数料	14,080円	12,892円	10,120円
		医療助成費 (高額立替払分含)	2,688,547円	2,794,541円	3,340,000円
計	2,702,627円	2,807,433円	3,350,120円		

一般財源	2,871
H26予算額	A 2,871
H25当初予算額	B 4,888
H25現計予算額	4,888
増減額	A- ▲ 2,017

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況
決算額又は決算見込額 (千円)	2,808	3,351	
従事職員数【人工】	0.05	0.05	
人件費 (人工×8,000千円)	400	400	
総事業費:人件費含む (千円)	3,208	3,751	
活動指標名	受給者数		
活動指標の算式	—		
活動指標の実績	31	15	
単位当たりコスト (円)	103,484	250,067	

事業の目標	①医療を受けやすくし、早期治療により疾病の重症化を防ぐ。 ②親の経済的負担を軽減する。 ③子育てしやすい環境を醸成し、人口の流失を防ぐ。	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃
-------	----------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児用補助装置(ベビーシート)貸与事業					
所管課	126	子ども支援課 (健康福祉部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	乳児を保護養育している人を対象に、申請日から概ね6カ月の間、ベビーシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。		区分	No.	区分名			
			款	3	民生費			
			項	2	児童福祉費			
			目	1	児童福祉総務費			
細目	1	本庁児童福祉総務費						
根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち							
H26年度事業の概要	レンタル事業者と委託契約を結び、申請者には直接事業者からベビーシートが貸与される。		財源の内訳 (単位:千円)					
	・8600円×45件×1.08=417,960円		分担金					
事業の成果	平成21年度決算	47件 427千円	使用料					
	平成22年度決算	44件 398千円	国費					
	平成23年度決算	33件 298千円	県費					
	平成24年度決算	38件 347千円	市債					
	平成25年度予算	45件 407千円(1/31現在受付31件)	その他					
			一般財源	418				
			H26予算額	A	418			
		H25当初予算額	B	407				
		H25現計予算額		407				
		増減額	A-B	11				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		347	407					
従事職員数【人工】		0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)		400	400					
総事業費:人件費含む(千円)		747	807					
活動指標名		貸与件数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		38	単位	件		45	単位	件
単位当たりコスト(円)		19,658	17,933					
事業の目標	宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用品が義務づけられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。			備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (6)ベビーシートレンタル事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い品支給事業						
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	新生児の誕生を祝い健やかな成長を願い、出産祝い品を支給し、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進に資する。				区分 No.	区分名			
					款	3	民生費		
					項	2	児童福祉費		
					目	1	児童福祉総務費		
細目	1	本庁児童福祉総務費							
根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱								
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち								
H26年度事業の概要	出産祝い品として、地域経済の振興に期待できるウッピー商品券(10,000円)を配布するとともに、子育て世代の経済的負担の軽減と定住促進に寄与する。				財源の内訳 (単位:千円)				
	10,000円 × 170人 = 1,700千円				分担金				
事業の成果	出産祝い品 22年度決算 160件 800千円 23年度決算 180件 900千円 24年度決算 150件 750千円 25年度予算 180件 1,800千円				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	1,700			
					H26予算額	A 1,700			
					H25当初予算額	B 1,800			
				H25現計予算額	1,800				
				増減額	A-B ▲ 100				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		750	1,800						
従事職員数【人工】		0.08	0.08						
人件費(人工 × 8,000千円)		640	640						
総事業費:人件費含む(千円)		1,390	2,440						
活動指標名		支給件数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		150	単位	件			160	単位	件
単位当たりコスト(円)		9,267	15,250						
事業の目標	新生児の誕生と健やかな成長を願い、出産祝い品を支給して祝福するとともに、25年度はウッピー商品券を活用することで、地域経済の振興に期待し、また支給額を倍増とすることで、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進につなげていく。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (7)出産祝い品贈呈事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	ファーストバースデー祝い品事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	誕生後、初めての誕生日を迎える幼児に、元気にすくすくと成長することを願いバースデー祝い品(絵本)を贈呈し、子育て世代の定着化と子どもの誕生祝を行う。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	満1歳の誕生日を迎える幼児1人に3,000円相当の祝い品(絵本)を贈呈する 3,000円×170人=510,000円 絵本のカタログや宇陀市HPを通じて、絵本を推奨し保護者が絵本を選択する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	はじめての誕生祝いに、子どもの健やかな成長を願い、絵本を贈呈する。 子どもに絵本の読み聞かせを通して、親子の関係がさらに密になり、親子の心が通じ合い子どもが安定し育ち、豊かな心が育つことを目的とする。 また、読み聞かせを通じて、本に親しみ、本を読むことが好きになり読書好きの子どもになることを目的とする。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	510	
					H26予算額	A 510	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 510						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	出産後1年を迎える幼児に誕生祝い品(絵本)を贈呈し、絵本の読み聞かせを通じ、安定した子育てを目的に親子の触れ合いを通し子育て支援を行い健やかな成長を促す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (8)ファーストバースデー祝い品事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供する。また、児童虐待を未然に防ぐため、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	こんにちは赤ちゃん事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	平成26年度予算概要 ・4500円×170人=765,000円 助産師2名へ委託 ・助産師活動補償保険 49,260円 ・対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。 ・訪問により支援が必要な家庭に対しては、個別ケース毎に会議を行い、その結果をふまえて支援の内容を検討する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成21年度決算 115件 518千円 平成22年度決算 162件 733千円 平成23年度決算 158件 706千円 平成24年度決算 125件 555千円 平成25年度予算 180件 810千円				使用料		
					国費		
					県費	382	
					市債		
					その他		
					一般財源	433	
					H26予算額	A 815	
					H25当初予算額	B 855	
H25現計予算額	855						
増減額	A-B ▲ 40						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 県:安心子ども基金 382千円		
決算額又は決算見込額(千円)	555	810					
従事職員数【人工】	0.01	0.01					
人件費(人工×8,000千円)	80	80					
総事業費:人件費含む(千円)	635	890					
活動指標名	訪問件数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	125	単位	件	180		単位	件
単位当たりコスト(円)	5,080		4,944				
事業の目標	乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児によるストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。また、25年度から未熟児訪問指導が県から権限移譲されるため、本事業の重要性がさらに大切になる。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (9)こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	給食食材放射能検査事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	保育所等が提供する給食の更なる安心・安全の確保を図るため、国が出荷制限指示の対象としている地域などを中心に、給食用食材の放射能検査を市独自として委託し、市民に結果を公表することで、保護者の給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境を整備する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	3	児童福祉施設費
細目	1	本庁児童福祉施設費					
根拠条例等	東京電力原子事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律、食品衛生法						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	保育所等が提供する給食食材の放射能検査委託料 (単価×回数×月数) 10,800円×4回×12月=518,400円 検査食材費 18,000円×4回=72,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	保護者の給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境を提供できた。				使用料		
					国費		
					県費	518	
					市債		
					その他		
					一般財源	73	
					H26予算額	A	591
					H25当初予算額	B	560
H25現計予算額		560					
増減額	A-B	31					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			560				
従事職員数【人工】			0.05				
人件費(人工×8,000千円)			400				
総事業費:人件費含む(千円)			960				
活動指標名	食材検査回数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	48	単位		回	
単位当たりコスト(円)			20,000				
事業の目標	食品中の放射性物質の検査体制については、国の新たな基準に従い、国が出荷制限指示の対象となっている都県では、検査計画を立て、自主検査や生産全品検査などを検査強化を図っている。しかしながら、時折、マスコミ等で報じられているように、安全基準をオーバーしている食材が市場に出回ることあり、保護者等の食材に対する不安は完全に払拭されていない。このようなことから、当分の間、市独自で給食用食材の放射能検査を市独自として委託し、市民に結果を公表することで、子どもたちの給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境づくりを行う。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)給食食材放射能検査事業

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域子育て支援拠点事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	乳児又は、幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	3	児童福祉施設費
細目	3	本庁子育て支援センター費					
根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項 ◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	毎月テーマを決めて、室内でふれあい遊び・リズム遊び・製作活動・絵本の読み聞かせ等をおこない楽しく交流する。親子教室(0歳児・1歳児・2歳児)を行う。1年間登録制・子育てに必要な情報や知識を教えてもらい、相談に応じてもらう。(保健師、歯科衛生士、栄養士、お話し会、民生児童委員等)親子教室の出身者や子育てを終えた地域の方々を募り、子育てボランティアとして関わってもらい、一緒に遊んだり子育ての経験談を話してもらい、育児のヒントにしてもらう。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室(0, 1, 2歳児)では、8クラス140組の登録者。毎週水曜日に各地区を回る出前保育(つどいのひろば)では、1ヶ月平均約33名。すこやかルーム開放では、1ヶ月平均200名の利用者があった。サークルも5組と毎月活発に活動している。 ・各幼稚園の未就園児交流会にも参加し、スムーズに入園ができるように支援できる。また、療育教室とも連携を取り、保護者からのニーズに対応しやすい環境が生まれている。 ・子育て講演会の開催、子育て相談も気軽にできるようになり、子ども支援課、保健センターや教育総務課とも連携会議を通してつながりやすくなった。 ・子育てボランティア(現在登録者17名)の充実が図れた。 ・地域とのつながりができた。(菟田野中学校、主任児童委員、民生委員、食推など) 				使用料		
					国費		
					県費		3,710
					市債		
					その他		149
					一般財源		93
					H26予算額	A	3,952
H25当初予算額	B	3,875					
H25現計予算額		3,875					
増減額	A-B	77					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		3,969		3,875			
従事職員数【人工】		5.00		5.00			
人件費(人工×8,000千円)		40,000		40,000			
総事業費:人件費含む(千円)		43,969		43,875			
活動指標名	支援センター事業参加者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	7,800	単位	人	8,000	単位	人	
単位当たりコスト(円)		5,637		5,484			
事業の目標	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (11)子育て支援センター「すくすく」の充実	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業 市加算分				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もってひとり親家庭等の親子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。 助成対象者は、宇陀市内に在住し、健康保険に加入しているひとり親家庭等の父または母と18歳未満(18歳に達する日以後最初の3月31日に達するまで)の児童や父母のない18歳未満の児童。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	6	ひとり親家庭等福祉費
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費					
根拠条例等	宇陀市ひとり親家庭等医療費助成条例、同条例施行規則						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	保険診療自己負担金の1カ月の医療機関毎の合計額から一部負担金(500円、但し月14日以上入院の場合は、1,000円)をそれぞれ控除した金額を助成。 県の助成金補助基準では、扶養義務者の所得制限があるが、宇陀市では所得制限額を超える所得がある場合でも市単事業として助成。 (市単事業分の予算) ・自己負担集計手数料・・・@44円×80件×12カ月=42,240円 ・医療費助成費・・・3,050円×85人×12カ月=3,111,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の成果	■ひとり親家庭等医療費助成状況 (市単事業分)				国費		
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	県費		
	医療資格者証所持者(年度末)	111人	97人	90人	市債		
	助成件数	973件	913件	900件	その他	51	
	支出額	自己負担集計手数料	44,000円	38,016円	39,600円	一般財源	3,103
		医療助成費(高額立替払分含)	1,971,821円	2,449,322円	2,867,000円	H26予算額 A	3,154
		計	2,015,821円	2,487,338円	2,906,600円	H25当初予算額 B	3,137
					H25現計予算額	3,137	
				増減額 A-B	17		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		2,488	2,907		福祉医療費助成制度高額療養費(諸収入) 51千円		
従事職員数【人工】		0.19	0.19				
人件費(人工×8,000千円)		1,520	1,520				
総事業費:人件費含む(千円)		4,008	4,427				
活動指標名		受給者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		97	単位	人	90	単位	人
単位当たりコスト(円)		41,320		49,189			
事業の目標	一般的に経済的基盤の脆弱なひとり親家庭等に対して、病気になったときに安心して病院にかかれるよう医療費を助成することで、治療の遅れから病気の重症化を防ぐことを目標とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃	